

◆CA シーズン I 総括

4月13日(水)から始まったCAシーズンIも7月23日(土)で終了となりました。各クラブ、この終了の時期に合わせて総括的活動に取り組みました。そのいくつかを紹介いたします。

美術クラブ

シーズンIの総括として、後期課程校舎のギャラリーで展覧会を行いました。各々が好きな音楽をひとつ選び、それをイラストレーション化した作品を制作しました。展覧会開催は初めての試みでしたが、展示方法やポスター制作など、部員みんなて話し合い、協力して活動できました。



バスケットボールクラブ

7月9日(土)16日(土)17日(日)の3日間で、MOIS Basketball Cup 2022 Summerが行われました。チケットの配布から景品となるキーホルダー等の作成、そして当日の大会運営まで、全て生徒主体で行われました。メインとなる試合でも練習の成果を十分に発揮し、男女ともに2位となりました。



パソコンクラブ

パソコンクラブでは、音楽の制作・編集やプログラミングによるゲームの制作を行い、最終活動日にそれぞれの制作物について発表しました。

また、活動を通して、同じ趣味をもつ人と交流できたり、プログラミングに触れることで論理的思考力を養うことができたりと、自身の成長を感じている生徒が多くみられました。



ダンスクラブ

シーズンIの総括として、コミュニティーホールでダンスの発表会を行いました。K-pop、ヒップホップ、創作ダンスなど、ジャンル別にそれぞれのグループが今までの練習の成果を披露しました。多くの生徒や先生が観に来てくださり、とても盛り上がるイベントとなりました。



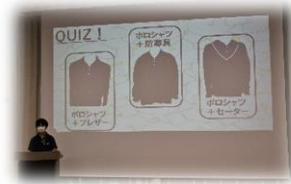
この他のクラブも、生徒主体で総括的活動に精力的に取り組んでいました。
シーズンIIは8月22日(月)から開始します。

TOPIC: 生徒総会

7月22日(金)に生徒総会が行われました。

今年度の生徒総会は、生徒や委員会からの要望をもとに、MOISの各種規則を改善し、執行していくことを目的としました。

第一号議案から第十号議案まで、生徒会含む中央委員議会の生徒がスライドを用いて丁寧に説明していました。



Carpe diem: What is summer break?

コーディネータ: Brad Semans

Growing up in the United States, even though every summer was different, they all had one thing in common: inquiry. Of course, at the time neither my parents or I thought of it that way. We looked at the nearly THREE MONTHS of summer vacation and thought of the best ways to fill it in a meaningful way. The result was participation in a wide variety of summer camps, volunteer activities, family trips and events, and of course lots of downtime. Because of this uniquely American situation, I spent weeks camping with peers, training at my favorite sport, and looking after younger children at their own camps. I also took lifesaving and first aid courses, took trips to universities along the east coast, and spent time reading about topics that were not covered in school. Looking back at those times, I realize that each of these activities, even the down-time, played an important role in shaping my mindset for the future. MOIS students have the chance to do the same. While it may be challenging to understand for others students in other schools, it is important that you approach the summer break as if it were an inquiry project.

Mission: You have several weeks off and lots of opportunities for inquiry. How will you use this time? Carpe diem!

アメリカで育った私は、夏が来るたびに違う経験をしてきたけれども、共通しているのは「探究」ということでした。もちろん、当時は両親も私もそんなことは考えていませんでした。3カ月近くある夏休みをいかに有意義に過ごすかを考えたのです。その結果、さまざまなサマー講座やボランティア活動、家族旅行やイベントへの参加、そしてもちろんたくさんのダウンタイムが生まれました。アメリカならではの事情もあり、仲間とキャンプをしたり、好きなスポーツの練習をしたり、年下の子のキャンプでスタッフとして活動したりして数週間を過ごしました。また、砂浜での Lifesaver の講習を受けたり、東海岸の大学を見学したり、学校では学べないようなテーマの本を読んだりする時間もありました。今振り返ると、その一つひとつの活動が、ダウンタイムであっても、私の将来に対する考え方を形成する上で重要な役割を担っていたことに気づかされます。MOIS の生徒には、同じことをするチャンスがあるのです。他校の生徒には理解がたいかもしれませんが、夏休みを「探究の時間」と捉えて取り組むことが大切です。

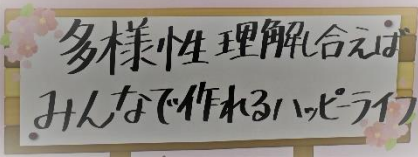
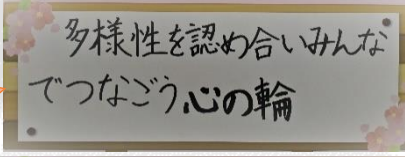
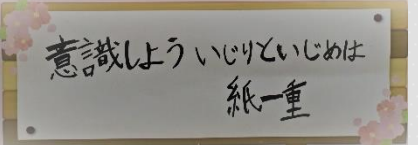
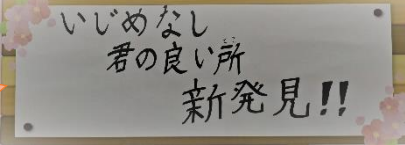
ミッションです。数週間の休みがあり、探究の機会もたくさんあります。この時間をどのように使いますか？

Carpe diem!

1 学年「心のケアも大切に」

1 学年担当:木下達哉

昨今の暑さはこの時期としては過去最高ともいわれ、感染症対策だけでなく熱中症への対策も必要な日々が続いています。しかしながら、学校生活に目を向けると、友人との仲もある程度の深まりをみせ、それゆえに今までとは違った関わり方が出てくる時期ともなりました。良くも悪くも相手のことが見えてきます。だからこそ、お互いの良いところを見つけあい、認め合って、さらにより良い関係を築いてもらいたいです。そのため、本校では6月をいじめ撲滅強化月間として定め、ロングホームルームの時間を使っていじめ撲滅のスローガンを各クラスで決めました。MOIS の生徒はやはり、自分の意見を積極的に伝えられます。HR 委員を中心に、どのクラスも各クラスに合った方法で活発な意見交換が行われていました。以下、各クラスのスローガンを写真で紹介します。生徒の皆には、今一度、自分たちで作ったスローガンを意識して生活し、体と心のケアを大切にしながら元気に活動してもらいたいです。

| | | | |
|--------|--|--------|---|
| 1 組 |  | 3 組 |  |
| 2 組 |  | 4 組 |  |



2 学年「SA フェア」

2 学年担当:小澤 星

7 月 2 日 (土) の LDT の時間に、SA フェアが開催されました。昨年からの SA だけでなく、新たな校内 SA も追加されました。また、生徒が企画し計画を立てて運営していく、生徒立ち上げ SA として、10 のプロジェクトも実施していきます。たくさんある SA の中からどの SA に参加しようか、熱心に話を聞く様子が見られました。興味のある内容、自分が身に付けたい力、自分の強みが活かせる活動など、選択の視点は様々です。充実した活動になるように、しっかりと計画、目標を立てることを意識してほしいです。自分に合った SA を見つけ、活動が終わった後には、成長した自分に出会えることを期待しています。



↑ユニクロの説明です

今年新しく実施するSA

| | |
|---|--|
| <p>校内SA</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ MOIS 広報 ・ MOIS 仕事塾SA ・ MOIS 3-up Project | <p>生徒立ち上げSA</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ MOIS Arts ・ Time machine ・ あいさつプロジェクト ・ Mystery×Mystery ・ MOIS BUS ・ 日本語教室SA ・ MOIS Music Lab ・ MOIS future ・ MOIS Hair Donation ・ MOIS Communit |
|---|--|



3学年「修学旅行の下見報告」

3学年担当:窪田 悠

9月29日(木)~10月1日(土)の3日間、東北地方への修学旅行に出かけます。修学旅行は本来4年生で行う行事になりますが、2期生は前倒して実施することになります(その分、来年度はニュージーランドで海外研修を行う予定です)。昨年度の British Hills に続き、2回目の宿泊活動を楽しみにしているお子様は多いと思います。一方、「修学旅行といえば京都・奈良でしょう」と思っているお子様も多いと思います。そこで今回は下見で見た東北の良さ、その魅力をお伝えしていこうと思います。



津波被害にあった大川小学校です。震災について考えさせられる建造物の一つです。

南三陸にあるこの橋は国立競技場をデザインした、あの隈研吾氏が設計したものです。

1日目星空観望会は Ocean View です。

東松島「オルレ」の様子です。今回ガイドいただいた方もそうですが、東北の人たちは本当に優しい方ばかりでした。

最後に夏休みの話です。夏休みに昼夜逆転、不摂生な生活を送っていると、学校の生活リズムに戻すのは非常に大変です。また修学旅行は時間厳守の団体行動、そしていつもと異なる生活環境下と、普段よりストレスを感じてしまう人は少なくありません。旅行中、体調を崩した場合は保護者の方に迎えに来ていただくことになります。ぜひ夏休み中は遊ぶことや勉強、様々な体験活動に時間を費やしながらか、心身ともに“修学旅行の準備”をしてほしいと思います。

4年次「LHR 学年レク」「修学旅行」

4年次担当:中村一雅

6月27日(月)Term3のLHRの時間に、HR委員主催の学年レクが行われました。この学年レクは「いじめ撲滅」に関する取り組みの一環としてHR委員が自分たちでアイデアを出しあい企画しました。レクの内容は①互いの背中に貼ってあるMOISに関連する言葉を「yes」か「no」で答えられる質問を繰り返すことである「yes, no ゲームのMOISバージョン」②学年職員に関する「チーム対抗O×クイズ」の2つでした。どちらのゲームもコミュニケーションをとり、人間関係を広げ、そして深めることができるような内容だったと感じます。HR委員の皆さんお疲れさまでした。



また、4年生も3年生と同様、修学旅行があります。日程は3年生より早い9月20日(火)~9月22日(木)です。3年生との大きな違いは、修学旅行中に得た様々な知識や経験をもとに、どのような地域貢献ができるかを Semester2 の3G の探究活動でも引き続き企画・実践をするということです。4年生にとって久々の宿泊行事ということもあり、どのクラスも期待が高まっているようです。充実した修学旅行にできるよう、計画的に準備を進めてほしいです。

